

基本方針3

魅力あふれる「人と自然」が調和するむらづくり

● 目指す姿

豊かな自然環境を守りながら、脱炭素社会の実現するため、本村の宝である人と自然が調和するむらづくりを目指します。

● 施策体系

- 
施策01 豊かな自然環境を次代につなぐ地域社会
- 
施策02 村の宝である人と自然が輝く交流の促進
- 
施策03 共生・協働で魅力ある地域社会づくり

● 数値目標

指 標	単 位	現状値 (R3年度)	目標値 (R9年度)
環境教育(学習)の受講者数	人	358	380
自然保全、美化活動参加者数	人	20	50
公用車のエコカー導入台数	台	2	5
制度活用による移住者数(山村留学含む)	人	8	15(13)
ケンムンの館利用者数	人	0	50,000
シマッチゅ見習い隊(地域おこし協力隊)の延べ人数	人	9	15
住民主体の活動団体数	団体	0	10
村の審議会等における女性の登用率	%	19.5	25.0

● 関連するSDGs



● 現状と課題

現状

- 村内学校との連携を図り、次世代を担う子どもを対象としたメヒルギの植樹活動やリュウキュウアユの保全活動等を実施しています。
- 平成30年2月に宇検村地球温暖化防止活動計画(2018年～2022年度)事務事業所編を策定しました。
- 「脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏のうち地域の多様な課題に応える脱炭素地域づくりモデル形成事業」を実施しました。(令和2年度)
- 宇検村版の脱炭素社会の実現に向けた計画書を策定しました。(令和3年度)
- 公用車の電気自動車2台とグリーンスローモビリティ車両1台を導入しました。
- 令和3年3月20日に宇検村ゼロカーボンシティ宣言を行いました。
- 令和4年8月、民間企業と連携してマングローブ再生の取り組みを開始することで合意しました。

課題

- 将来の世代も豊かな自然環境を同じように享受できるよう、保全活動を行っていく必要があります。
- 国が示した2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとするカーボンニュートラルの実現のため、村民、企業、自治体等の社会の構成員が、それぞれの責任として温室効果ガスの排出量の削減・吸収作用の保全及び強化に取り組んでいく必要があります。
- 脱炭素社会を実現するため、更なる再生可能エネルギーなどの導入を促進するとともに、節電など省エネルギーの取組を推進することが求められています。
- 環境保全の取組を更に拡大するために、生物多様性に対する村民意識の高揚を図り、村民参画型の保全活動を推進し、自然共生社会を実現していくことが求められています。



● 基本方針

持続可能な資源循環型社会の形成を目指すとともに、地球環境にやさしい地域づくりを進めるために、自然エネルギーの活用や省資源・省エネルギーの視点に立った環境にやさしい生活様式の推進に努めます。

● 主要施策

01 地域ぐるみの自然環境保全体制づくり

内容

- 豊かな自然環境を後世に残す大切さ・祖先が残してくれた貴重な財産を守り育てていくことの大切さを学習する環境教育を実施し、子どもの頃からの環境保全意識の向上を図ります。
- 環境保全に関する取り組みは、村民・シマ(集落)・関係機関が連携して、総合的な施策の展開に努めます。
- 世界自然遺産の主要エリアとなっている湯湾岳の登山ルールをつくり、貴重な自然環境の保全を前提に、持続可能な利用の推進を図ります。

主な事業・取組

- 宇検村やけうちっ子環境学習世界自然遺産博士講座の実施
- 広域連携の推進
- 登山ルールの作成

02 豊かな自然環境の保全

内容

- 幼児期からの自然体験学習や環境教育の推進、環境保全に関する広報啓発活動の強化等を図り、村民一人ひとりの自然保護意識、環境保全意識の高揚に努めます。
- 村内一斉清掃や水質浄化運動など、村民の主体的な環境美化活動や環境保全活動を一層支援・促進し、活動の広報・告知活動に力を入れるなど、さらにその普及・拡大に努めます。
- 関係法令の適切な運用を図り、計画的な土地利用の推進や自然環境と調和した開発の誘導に努めます。
- 自然環境保護組織を育成するなど調査・監視体制の強化に努めます。
- 水産業等と連携するなど、村全体で焼内湾内の美化作業に取り組みます。

主な事業・取組

- 自然体験学習の実施
- 赤土の海への流入対策事業
- 緑化推進協議会補助金

03 地球環境にやさしい再生可能エネルギーの導入

内容

- 身近なことから取り組めるエコ意識の普及・啓発を推進します。
- 太陽光発電・蓄電池システムの導入など、村民が家庭で取り組むことのできる再生可能エネルギーについて周知を図るとともに、できる限り化石燃料に依存しない低環境負荷のライフスタイルの普及に努めます。
- 公用車の更新時においては、電気自動車やハイブリット車などエコカーの導入に努めます。
- 大型の台風などによる大規模停電に備え、再生可能エネルギー(太陽光・水力・風力・潮力・波力・海流・地熱など)の発電方法の中から地域性を考慮した導入の可能性を検討します。
- 地域の課題を多様な主体で共有して地域資源である未利用資源等を地域内で製造・供給・利用する取組みを推進します。

主な事業・取組

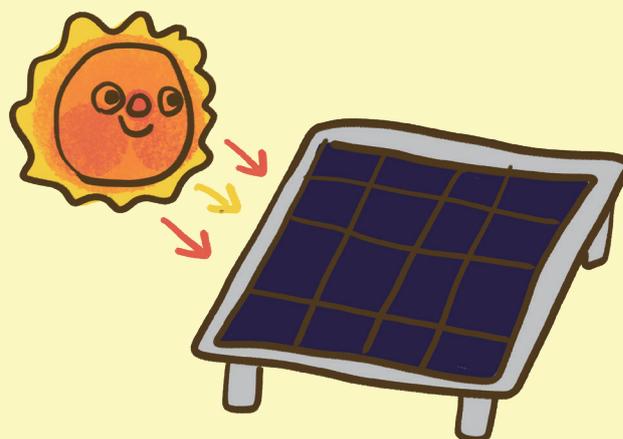
- 脱炭素社会の実現に向けた計画書の実施
- 電気自動車やハイブリッド車等の導入
- 公共施設のLED化
- 「身近なエコからにやりつくわなー」
- エコチャレンジ

● 地域共生のための行動

村民	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動などの地域の環境保全活動や環境教育活動へ積極的に参加しましょう。 ・脱炭素行動に対する関心をもち、自らの行動につなげましょう。
地域事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動などの環境保全活動や環境教育活動へ積極的に取り組みましょう。 ・省エネルギーの活動に努めましょう。

関連計画

- 地球温暖化防止活動実行計画
- 奄美大島生物多様性地域戦略



● 関連するSDGs



● 現状と課題

現
状

- 宮城県七ヶ宿町の児童生徒との交流事業を毎年度開催しています。
- 村出身のブラジル移民の方との交流会を開催しています。
- 豊かな自然や景観の意識の高揚につながる国立公園と世界自然遺産に登録されています。

課
題

- 移住希望者の増加に対応するため、住宅の確保が喫緊の課題となっています。

● 基本方針

村民一人ひとりが、村の持つ魅力(宝)を再認識し、村に興味関心を持つことや、村を誇りに思う気持ちを再発見することで、村の魅力は輝きを増すという考えのもと、特色のある資源(歴史・文化・自然・観光)を単体で整備するのではなく、人が流動化して利用する地域連携の施設整備と流動化しやすい社会整備を進め、本村が元来持つよさを活かした社会基盤の整備として、都市部にはない自然の提供、自然景観及び歴史や文化を色濃く残したシマ(集落)景観を重視した整備(地域づくり)、情緒豊かな自然環境と社会環境を共生させる基盤づくりを推進します。



● 主要施策

01 移住や交流の促進

内容

- 小・中学校の各段階において、地域への課題意識や貢献意識を深めるような学びを実現し、地域に誇りを持ち、根付くような人材の育成を推進します。
- 進学や就職のため村外県外に転出した若年層に向けた、地元在留の親世代へのアプローチなどのUターン施策を推進します。
- 地域おこしに意欲のある都市部の人材を呼び込み、その定住・定着を図ります。
- 本村への移住を促進するため村内2校で実施している親子山村留学を引き続き推進するとともに、地域のニーズに応じて事業の拡大を検討します。
- 出会いの場を提供するイベントの開催など実施し、若い世代が結婚の希望を叶えられるよう支援します。
- 村広報紙、村公式ホームページ、SNS、アプリ、FMうけんなどを活用してわかりやすい情報発信を実施します。
- ふるさと納税や地元出身者等をターゲットとした交流イベント、体験ツアー等の開催や企業等との包括的な連携をするなど関係人口の創出・拡大に努めます。

主な事業・取組

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 宇検村未来の担い手育成事業 | <input type="checkbox"/> シマツちゅ見習い隊(地域おこし協力隊)の活用 |
| <input type="checkbox"/> 宇検村移住・交流推進事業 | <input type="checkbox"/> ふるさと納税制度 |
| <input type="checkbox"/> 親子山村留学事業 | |

02 新たな交流を育む魅力づくり

内容

- 村民が積極的に参加でき、人材育成につながる研修会やワークショップを開催します。
- シマ(集落)を愛し、村を誇りに思い、もてなしの気持ちを持って接する「元来の宇検村民の心と心の交流」を訪問者に体感してもらえるような、交流プログラムの開発と人材育成を行います。
- 焼内湾・湯湾岳等の豊かな地域資源を活用したエコツーリズムの推進や、地域コミュニティ活動との連携を図りながら、交流から定住につなげていくむらの魅力向上に向けた取組を推進します。
- ユニバーサルデザインの視点にも配慮した案内板等のデザインの統一化を図り、村の魅力向上を図ります。

主な事業・取組

- 宇検村魅力化事業
- ユニバーサルデザイン推進事業
- エコツーリズムの推進

03 交流を促進するための受入体制づくり

内容

- 「ケンムンの館」を交流拠点として位置づけ、各集落に点在する資源をそれぞれ結びつけることによって有効活用します。
- 空き家バンクの有効活用を推進し、Iターン、Uターン者に対して提供するなど、効果的な活用に努めます。

主な事業・取組

- 観光拠点施設の機能強化
- 空き家バンク

● 地域共生のための行動

村民	宇検村の魅力をPRしましょう。
地域	移住者や村に訪れる人々を、あたたかく受け入れましょう。
事業者	雇用者の村内への居住を推進しましょう。

関連計画

- まち・ひと・しごと創生総合戦略



● 関連するSDGs



● 現状と課題

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域共生社会の実現に向けた取り組み(くりしいっちゃん座談会の開催等)を推進しています。 ● 平成29年度農林水産大臣賞受賞 天皇杯受賞 農林水産祭(むらづくり部門)阿室校区活性化対策委員会が受賞しました。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ● 過疎化が進む集落では、地域コミュニティ活動の継続や災害時における共助の面で課題が生じています。 ● 性別に関わりなく、お互いを尊重し、自らの個性と能力を十分発揮することで、あらゆる分野で活躍できる社会の実現に向けた男女共同参画の推進が重要です。



● 基本方針

住民一人ひとりの想いと行動がむらづくりに十分に活かされるよう、住民参画・地域協働を推進する体制を強化するため、その前提となる情報共有体制の充実を図ります。

また、地域で暮らす人の誰もが、性・年齢・身体状況などに関わらず、一人ひとりが個人の尊厳をもって生活できるように、あらゆる差別や人権侵害の解消に努めます。

● 主要施策

01 村民参画の推進

内容

- 共生・協働のむらづくりを推進する制度(村民参画条例等)を導入し、自助・共助・公助の視点でそれぞれの役割を再認識し、村民一体となったむらづくり参画への権利と義務を共有します。
- 村民一人ひとりがそれぞれの立場で、主体的に村民参画ができるよう、村民意識の高揚を図るとともに、各種団体と連携した総合的な人材育成を積極的に支援します。
- 村広報紙、村公式ホームページ、FMうけんなどを活用して、わかりやすい情報提供により、村民の理解を得るとともに、各種団体の活動を周知広報し、村民の活動への参画を促します。

主な事業・取組

- 共生・協働のための仕組みや体制づくり
- 村民活動の支援
- 広報活動の充実・支援
- ボランティア活動やNPO活動など、村民の自発的な活動の支援
- 行政懇談会の開催
- 公募による協働事業の検討、各種団体等の連携や交流に対する支援

02 地域コミュニティ活動の推進

内容

- 地域課題をはじめ様々な情報を村民と行政が共有し、集落における対話の場づくりに努めます。
- それぞれの集落特性を活かして、地域住民が積極的に地域活動に取り組み、地域のつながりやコミュニティを再生することで、活力ある集落づくりを進めます。
- クリエイティブ人材などとシマ(集落)民との交流を促進し、地域コミュニティへの参画による持続可能な集落づくりを推進します。

主な事業・取組

- 地域コミュニティ活動の推進
- 地域コミュニティ活動への支援
- 新たな地域コミュニティの創造に向けた調査・研究
- シマ(集落)への本村担当職員の配置

03 男女共同参画社会づくり

内容

- 男女共同参画社会の形成に向けて、性別にとらわれない視点に立った教育の推進、固定的な役割分担意識、慣行の見直しなどについて、周知広報を行います。
- 仕事と家庭の両立(ワークライフバランス)の実現に向けて、多様なライフスタイルに対応できるよう支援を行います。
- 家庭・地域・職場・学校など社会のすべての分野・場面で男女共同参画の推進と、政策や意思決定の過程において女性の参画を推進します。
- 広報活動を充実させることにより、各家庭における役割分担の見直しを促すなど、村民に対する男女平等についてのさらなる意識の啓発を進めます。
- 多様な保育サービスの充実や子育て支援ネットワークの構築、子育て家庭への支援などの子育てに関する環境の充実を図り、男性も女性も、家庭や職場、地域等において、ともに活躍できる社会づくりを進めていきます。

主な事業・取組

- 男女共同参画審議会の開催
- 男女共同参画推進事業

04 多文化共生社会の実現

内容

- 行政等に関する情報を外国人住民も得られるように多言語や分かりやすいやさしい日本語を使い分けながら、情報を提供していきます。

主な事業・取組

- 日本語講習会



● 地域共生のための行動

村民	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的なむらづくり活動に参加しましょう。 ・性別に関わらない平等な社会参画意識の醸成・浸透を図りましょう。
地域事業者	<ul style="list-style-type: none"> 村民・事業者の参加のもと、地域の活性化に取り組みましょう。 仕事と生活の調和を図るとともに、方針決定過程への女性参画に努めましょう。

関連計画

- 男女共同参画基本計画